

子どもの人権講座 ～自分らしくシアワセに生きる～

講師

NPO法人 あそび環境 Museum アフタフ・バーバン代表

北島 尚志（きたじまたかし）さん〈北さん〉

実施 平成25年6月22日～25日 7月12日 8月20日～22日

小学校2校 中学校3校 男性対象パパ講座1会場 子育て支援者・一般対象講座3会場実施

＜企画の背景＞

「ほっと・すぱーす 21」は、平成17年「子どもほっとライン もしもしにゃんこ」を主事業に発足しました。そのときの土台となったものが「子どもの権利条約」です。10年の時をかけ、世界中の子どもたちの声を集めて編纂されたこの条約は子どもも健やかに育つ権利、そして意見（キモチ）を言ったり聴いたりしてもらふ権利など40の条約から成り立ち、いつも私たちの柱となり、子どもたちに向き合う支えとなっています。



「もしもしにゃんこ」を開設し、丸7年。毎年1,500本くらいずつのアクセスがあります。そしてそこから見える子どもの現状。友だちのこと、自分自身のこと、話ながら感じることは、ありのままの自分の心に気づいてほしい、自分らしく生きたい、そんな言葉にならないキモチです。

また、親や家族の考え、キモチに一生懸命応えようとしている子どもの姿もみえます。親は子どもに楽な道をと子どもに人生にルールを引く、勉強に習い事にスポーツに自分ができなかった夢を子どもに託す、自分の価値観を子どもにも強いる等、おとながよかれと思っていることが反対に子どもが自分らしく生きることを苦しくさせ、進路、生き方、人との関わりなど様々な問題となって子どもたちから発せられています。生まれてから成長する過程で関わるたくさんのおとなの存在、私たちおとな世代の価値観が今問われているように感じています。

昨年7講座に引き続き今年度は9講座実施しました。今年度の企画の特徴は、小学校で2講座、中学校で3講座、また学童クラブに関わる方など現場で直接子どもと関わるおとな講座、若いお父さんたち対象講座の実施です。

ほっと・すぱーす 21 も「子どもの権利条約」をより分かりやすくするため、ユニセフに子ども用に作成されたものを40条、カードにラミネートし、手に取りやすく分かりやすいものを作成しました。また講師サポートを小・中学校講座で2-3名でし、共に学びました。

尚、実施にあたっては、市町村と市町村教育委員会、公民館（コミュニティセンター）、社会福祉協議会、学校との協働で開催し、担当していただいた方と連絡を密にとりながら行いました。



<実施の様子>

別項目でそれぞれのようにすを掲載していますのでみてください。

<感想と評価と今後に向けて>

・中学生の「椅子取り」はどこの会場も圧巻のワークショップでした。北さんの「待つ」力、子どもたちの力と学びを信じる心を教えられ、また中学生たちが考え力をあわせ、気持ちをかよわせ学んで成長する姿を、たった20分ほどのワークショップで垣間見ました。心が震えるような場面が展開されました。「権利」とはなにか、肌で感じとった参加した生徒のまっすぐ北さんを見つめる目、「北さんが今の僕らには必要です、全校でこの講座を学びたいです」ということばに感じ取ったものの大きさが表れていたように思います。

中学校でこのような講座が開催できているのは、島根くらいとの講師さんの話に驚き、また今回の企画の広がりを切に望みます。

・3つのフィルター「互いに安心」「他者がその気」「納得」は小学生からおとなまで、ワークショップを通じ心に落ちました。難しいかと思えた小学校でも理解した様子が感想に現れていました。揺れ動く年代に突入する直前にこんな学びを体験させたいと講座を終えて切に思いました。

・子育て中のお父さんのための講座は、同性として人生の先輩としての北さんという立場がいかにこの世代によかったかを講座中に幾度か感じました。来年度、幼稚園や保育園などとできれば協働し、若い子育て世代対象講座を実施し、子どもの成長・発達にとってなにか大切かを共に学びたいと感じました。

・子どもの権利条40条を今回分かりやすく提示しました。子どもの権利条約そのものの存在を知らせたこと、その中身の大きさをまた知らせたことが大きな収穫だったように思います。そして権利は子どものわがままではなく、子どもが未来に向かってよりよく生きるための権利だと知らせたことは、小学生にも中学生にもおとなにも意義があったように思います。今年も中学生が権利条約をみながら言っていました。「生きる権利が一番です」「差別はいけない」「あそび・余暇は補償されているんだって」「教育は僕らに最善のことをだってよ」当たり前を改めて驚いてみなくてはならない今の現状、せめて全小・中・高校の子どもたちにこのことを「知る権利」を提供したいとします。

- ・講座をイベントとして終わらず、なんらかの形で広げ伝えられるようにする。今後の大きな課題です。
- ・3年目の来年度は西部での講座開催をしたいと思っています。

終わりに

素晴らしい心温まる講座を3回も東京からきていただき9つも講座をしていただいた講師北島尚志さんに改めて会員一同感謝をいたします。ありがとうございました。

そして、今回の実施にあたり協働いただいた各関係機関様、ご担当を始め会場の皆様本当にありがとうございました。また当日のお心遣いの数々、感謝申し上げます。皆様のおかげで無事開催できたたくさんの方が思いを共有しました。重ねて感謝いたします。

当日ご取材いただきました報道関係の皆様ありがとうございました。

最後になりましたが、助成をしていただきました公益信託しまね女性ファンド様に御礼を申し上げます。

300人近い人が学びました。自分の権利、人の権利、子どもの権利・・・みんなが考えました。こんな機会をいただいたこと本当にありがとうございました。